

中部圏・近畿圏の内陸地震対策を検討するため、平成18年12月に公表した震度分布に基づき人的・物的被害を想定

検討の背景

・中部圏・近畿圏内陸で地震が発生した際の、一府県のみでの対応が困難な大規模被害に対する広域防災対策の検討

これまでの検討結果

○想定震度分布等の公表(H18.12月)

- 中部圏・近畿圏の内陸13地震について想定震度分布を作成
- ・活断層で発生するM7.0以上の11地震
- ・M6.9の2地震(地表で存在が認められない活断層を想定)

今回

○基本被害想定結果の公表

- 上記13地震の震度分布を基に被害想定を実施
- 建物被害、人的被害等について公表

今後の予定

○その他の被害想定結果の公表

- 交通、ライフライン、孤立集落、重要文化財、経済等の被害想定について公表

○専門調査会報告の取りまとめ

- 重点課題を踏まえた施策体系の整理

平成20年度内目途

地震対策大綱の策定

予防対策から応急対応、復旧復興対策まで含んだ総合防災対策のマスタープラン

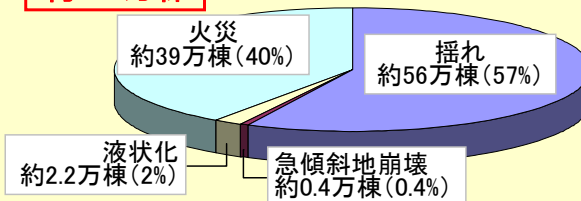
1. 被害想定的前提条件

- ①中部圏5タイプ、近畿圏8タイプの地震動を想定
- ②時刻・季節により4シーンを設定
(冬朝5時、秋朝8時、冬昼12時、冬夕18時)
- ③風速は3m/s(阪神・淡路大震災時)及び15m/s(関東大震災時)の2パターンを設定

2. ^{うえまち}上町断層帯の地震による被害

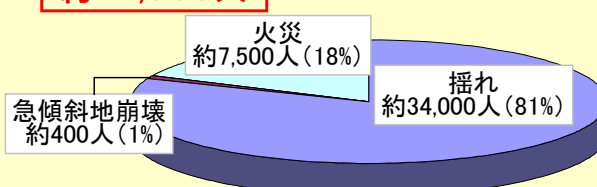
①建物全壊棟数(冬昼12時、風速15m/s)

約97万棟



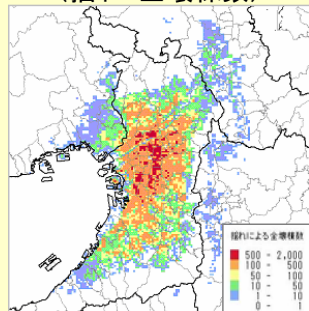
②死者数(冬朝5時、風速15m/s)

約42,000人

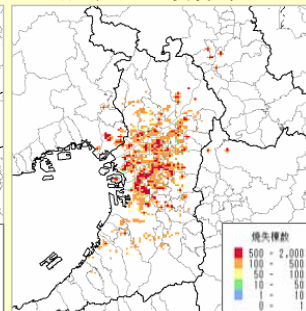


負傷者: 約220,000人(うち重傷者: 約47,000人)

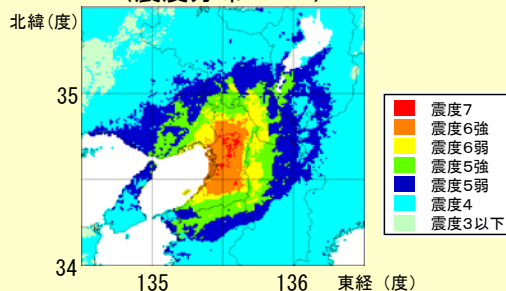
(揺れ・全壊棟数)



(火災・全壊棟数)



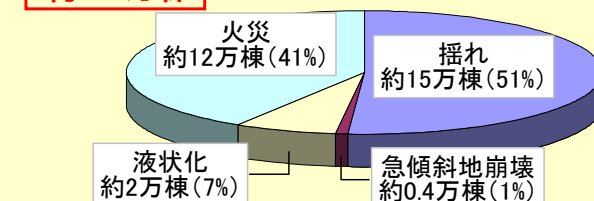
(震度分布・M7.6)



3. ^{さなげ たかはま}猿投-高浜断層帯の地震による被害

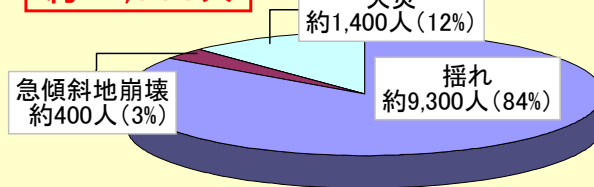
①建物全壊棟数(冬昼12時、風速15m/s)

約30万棟



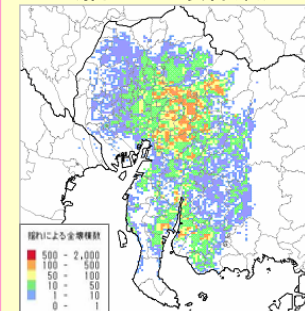
②死者数(冬朝5時、風速15m/s)

約11,000人

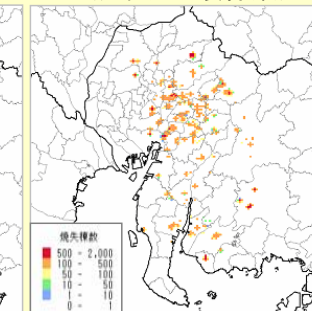


負傷者: 約69,000人(うち重傷者: 約14,000人)

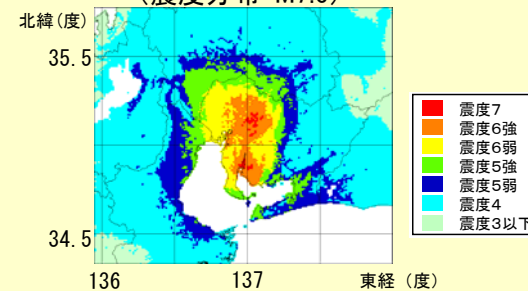
(揺れ・全壊棟数)



(火災・全壊棟数)

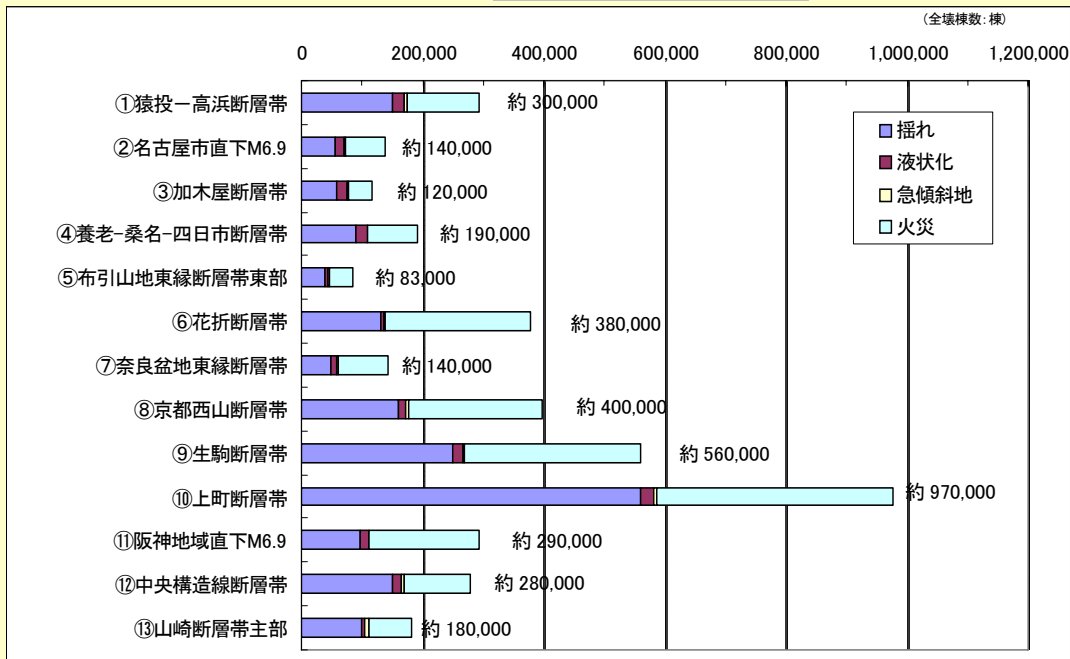


(震度分布・M7.6)

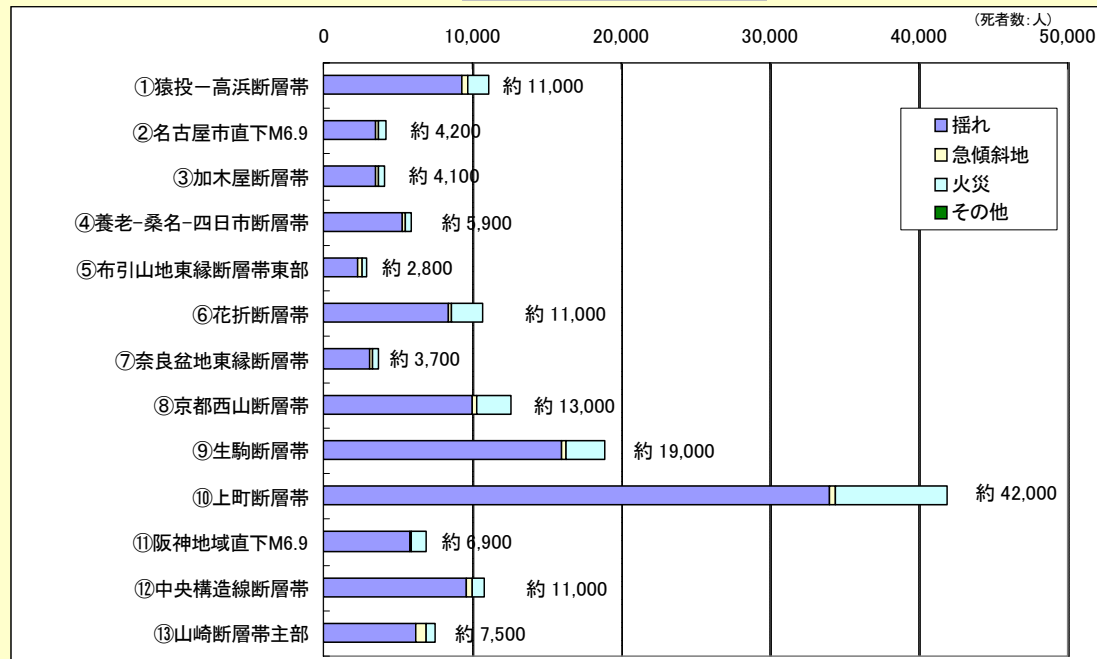


4. 被害の概要(想定13タイプ別)

○各地震動における**建物被害**は、**冬昼12時、風速15m/s**で最大

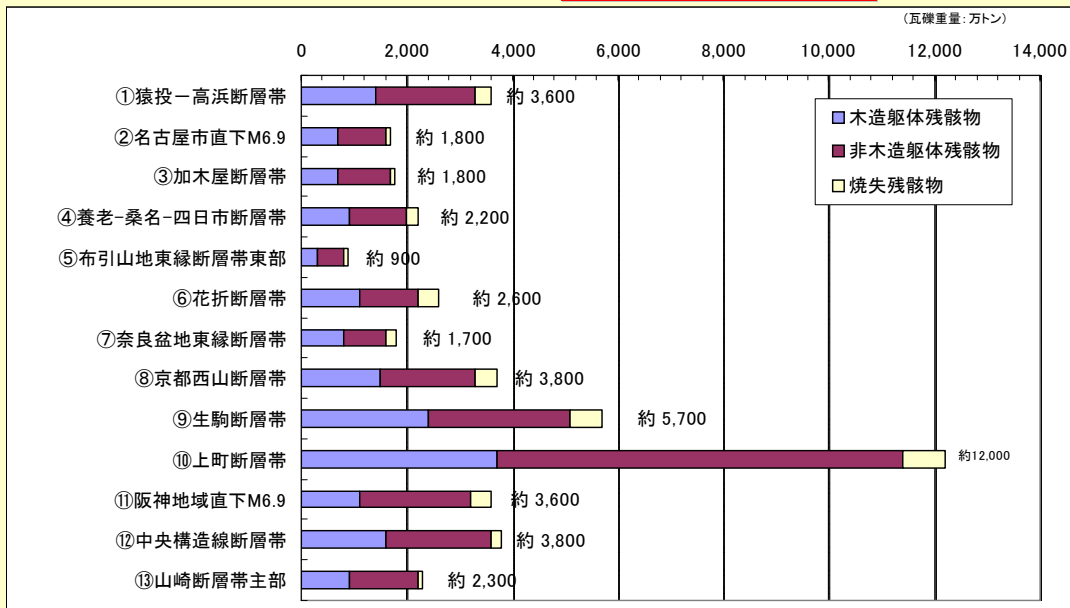


○各地震動における**死者数**は、**冬朝5時、風速15m/s**で最大

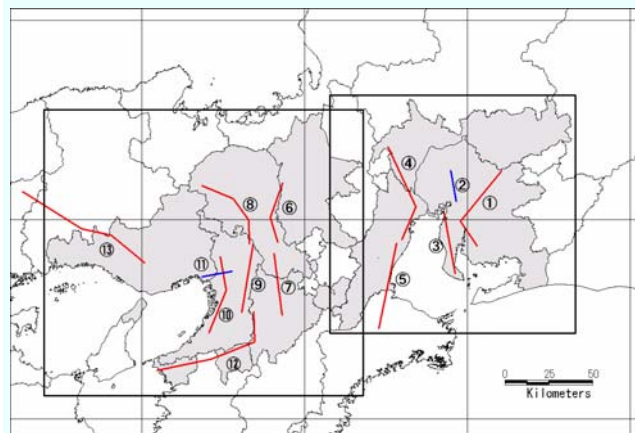


5. 発生する震災廃棄物の重量

○各地震動で発生する**震災廃棄物**は、**冬昼12時、風速15m/s**で最大



(参考)応急対策の対象とする地震



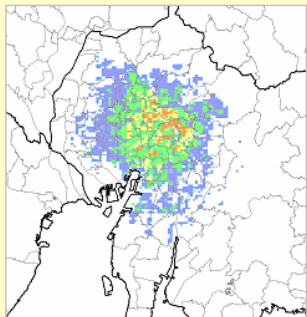
応急対策地震番号	活断層番号	対象地震	M	Mw
(1)	8	猿投-高浜断層帯の地震	7.6	7.2
(2)	-	名古屋市直下M6.9の地震	6.9	6.6
(3)	10	加木屋断層帯の地震	7.4	7.1
(4)	13	養老-桑名-四日市断層帯の地震	7.7	7.3
(5)	14	布引山地東縁断層帯東部の地震	7.6	7.3
(6)	25	花折断層帯の地震	7.4	7.0
(7)	26	奈良盆地東縁断層帯の地震	7.4	7.0
(8)	28	京都西山断層帯の地震	7.5	7.2
(9)	29	生駒断層帯の地震	7.5	7.1
(10)	30	上町断層帯の地震	7.6	7.2
(11)	-	阪神地域直下M6.9の地震(注)	6.9	6.6
(12)	38	中央構造線断層帯(金剛山地東縁-和泉山脈南縁)の地震	7.8	7.4
(13)	37	山崎断層帯主部の地震	8.0	7.6

(注)大阪府と兵庫県の間付近で発生するM6.9の地震

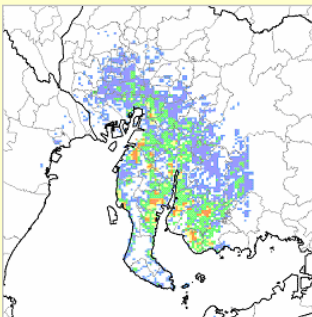
* 名古屋、京都、大阪、神戸など大都市や工業地帯への影響、文化財保護等を考慮し、これらの地域に存在する11の活断層による地震と名古屋市直下及び阪神地域直下で発生するそれぞれM6.9の地震、合わせて13地震を検討対象としている。

6. その他の各断層帯の地震での揺れによる全壊棟数分布

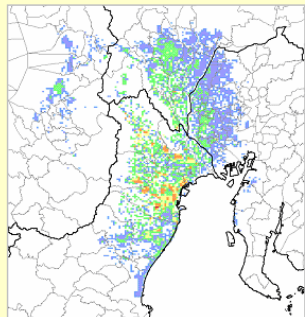
② 名古屋市直下M6.9の地震



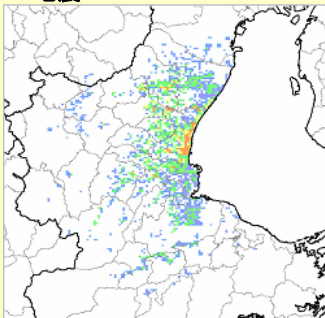
③ 加木屋断層帯の地震



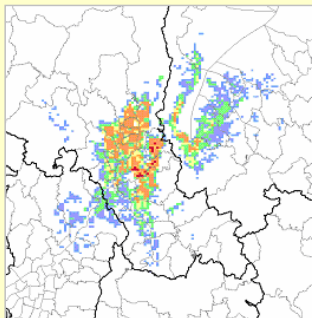
④ 養老-桑名-四日市断層帯の地震



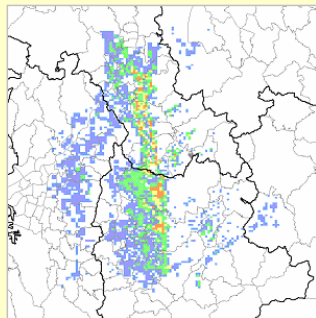
⑤ 布引山地東縁断層帯東部の地震



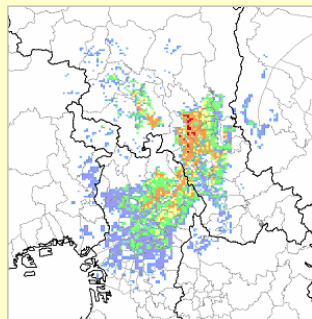
⑥ 花折断層帯の地震



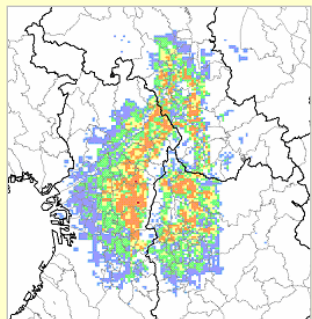
⑦ 奈良盆地東縁断層帯の地震



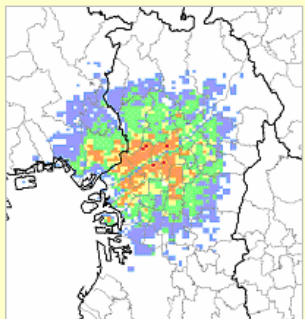
⑧ 京都西山断層帯の地震



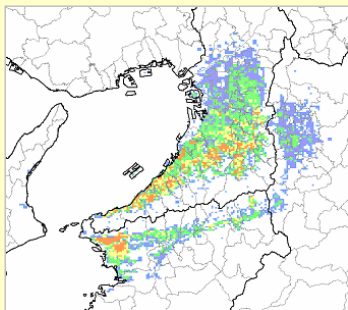
⑨ 生駒断層帯の地震



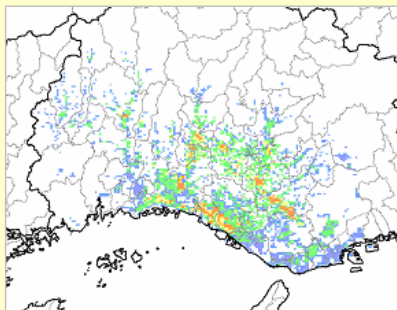
⑪ 阪神地域直下M6.9の地震



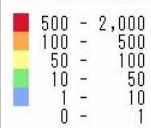
⑫ 中央構造線断層帯の地震



⑬ 山崎断層帯主部の地震

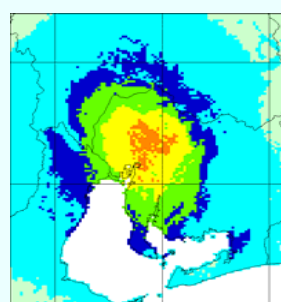


揺れによる全壊棟数

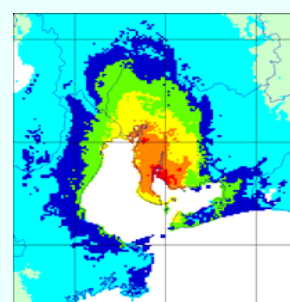


(参考) その他の各断層帯の地震の震度分布

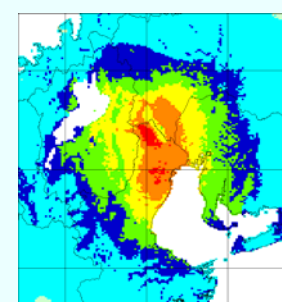
② 名古屋市直下M6.9の地震



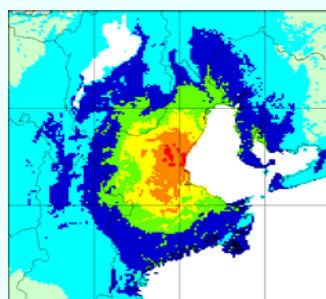
③ 加木屋断層帯の地震



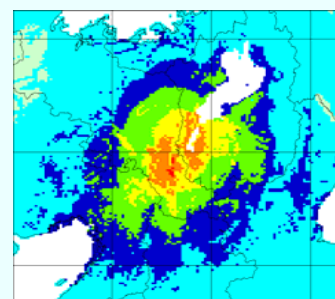
④ 養老-桑名-四日市断層帯の地震



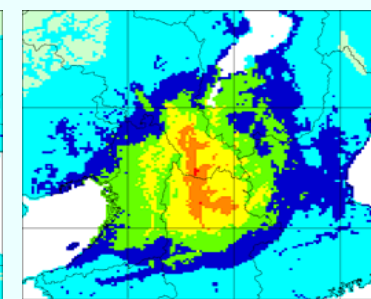
⑤ 布引山地東縁断層帯東部の地震



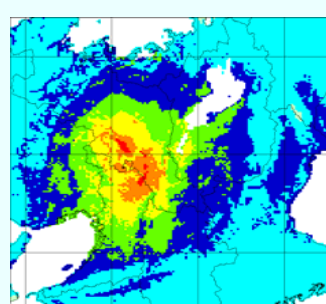
⑥ 花折断層帯の地震



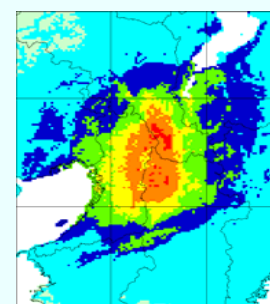
⑦ 奈良盆地東縁断層帯の地震



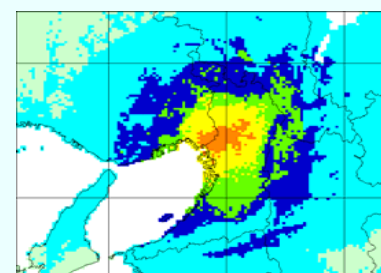
⑧ 京都西山断層帯の地震



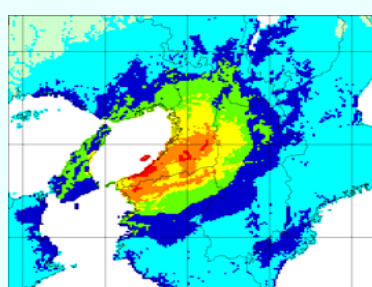
⑨ 生駒断層帯の地震



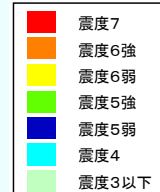
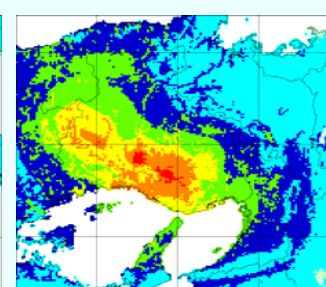
⑪ 阪神地域直下M6.9の地震



⑫ 中央構造線断層帯の地震



⑬ 山崎断層帯主部の地震



* 震度分布図の縮尺は、6.の全壊棟数分布図の縮尺とは異なることに注意